

問1 フランス革命後の混乱を收拾し、1804年に国民投票によって「皇帝」の地位に就いたナポレオンが制定した法典について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 京都公立入試 類似）

1. 私有財産の不可侵や法の下での平等などを明文化し、近代市民社会の法的な基礎を確立することで各国の民法に大きな影響を与えた。
2. 国家が個人の生活に積極的に介入し、失業者や高齢者の生活を保障する「社会権」の考え方を世界で初めて法的に確立した。
3. 絶対王政を復活させるために、国王が持つ絶対的な権限を成文化し、国民が国家に従属することを義務付けた。
4. 行政の長である「首相」の権限を強化し、議会を通さずに人権を制限できるような仕組みをヨーロッパ全土に広めた。

問2 「王政復古の大号令」が発せられた背景や目的についての説明として、最も適切なものを次から選びなさい。（2018年 愛媛公立入試 類似）

1. 徳川家を排除し、天皇を中心とする新政府を樹立するとともに、摂政や幕府などの古い制度を廃止すること
2. 明治天皇が神に誓う形式で、開国和親や公議世論の尊重といった新しい政治の基本方針を示すこと
3. 全国の藩主に土地と人民を天皇へ返還させ、地方統治の実権を新政府に一本化すること
4. 江戸幕府の第15代将軍が、討幕の口実をなくすために自ら進んで政権を朝廷に返上すること

問3 1872年に公布された学制の内容や、当時の社会状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 岐阜公立入試 類似）

1. 身分や男女の区別なく、6歳以上の男女すべてが小学校に通うことを原則とした。
2. 天皇の言葉として教育の理念を示し、家族愛や忠君愛国の精神を育てることを主眼とした。
3. 第二次世界大戦後、民主主義の教育理念に基づき、個人の尊厳を重んじるために制定された。
4. 授業料はすべて国庫から支出されたため、子供を学校に通わせる農民層から歓迎された。

問4 1867年の大政奉還によって江戸幕府が滅亡した翌年、明治天皇が神々に誓う形式で発表した、新政府による国家運営の基本方針を何と称しますか。（2021年 福島県公立入試 類似）

1. 五箇条の御誓文
2. 教育勅語
3. 大日本帝国憲法
4. 軍人勅諭

問5 明治時代初期、日刊新聞や雑誌の創刊を通じて欧米の思想や文化が積極的に取り入れられ、日本人の生活や意識が大きく変化した現象を何と呼ぶか。また、当時の都市部で見られた、新しい食文化や交通手段の組み合わせとして適切なものはどれか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 文明開化と呼ばれ、パンなどの洋食の普及や、人力車の利用が見られた。
2. 文明開化と呼ばれ、肉食の禁止や、全国的な鉄道網による長距離移動が一般的となった。
3. 蘭学の普及と呼ばれ、パンなどの洋食の普及や、人力車の利用が見られた。
4. 大正デモクラシーと呼ばれ、ラジオ放送の開始や、円タク（タクシー）の普及が見られた。

問6 明治新政府が1868年に発表した五箇条の御誓文において、「広く会議ヲ興シ、万機公論ニ決スベシ」という一文を盛り込んだ背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 特定の藩や人物による独裁を避け、広く諸藩の意見を取り入れて政治を行う姿勢を示す必要があったから
2. 江戸幕府の旧来の制度をそのまま引き継ぎ、将軍が中心となって政治を行うことを宣言するため
3. 天皇がすべての政治判断を一人で行い、国民はそれに従うだけでよいという強い権威を示すため
4. 外国との不平等条約を直ちに破棄し、再び鎖国体制に戻ることを国内外に知らせるため

問7 地租改正の実施に際して、明治政府が土地の所有を認めた証として所有者に交付し、その表面に地価や納税者名などを記載した証書を何と称しますか。（2024年 京都公立入試 類似）

1. 地券
2. 藩札
3. 株札
4. 地租改正反対一揆の嘆願書

問8 1869年に明治政府が実施した、全国の藩主が所有していた土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させた政策を何と称しますか。（2023年 香川公立入試 類似）

1. 版籍奉還
2. 廃藩置県
3. 地租改正
4. 殖産興業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 私有財産の不可侵や法の下での平等などを明文化し、近代市民社会の法的な基礎を確立することで各国の民法に大きな影響を与えた。	ナポレオンは1804年にナポレオン法典（フランス民法典）を制定しました。この法典は、フランス革命で得られた成果である「法の下での平等」「信仰の自由」「私有財産の不可侵」といった原則を整理したものであり、フランス国内だけでなく、ナポレオンの遠征によってヨーロッパ各国の近代法整備に多大な影響を与えました。当時は国家からの干渉を排除する自由権的な性格が強く、社会権の確立は後の20世紀を待つこととなります。
問2	答え 1 徳川家を排除し、天皇を中心とする新政府を樹立するとともに、摂政や幕府などの古い制度を廃止すること	王政復古の大号令は、徳川慶喜による大政奉還の直後に出されました。その目的は、幕府だけでなく摂政・関白などの旧来の職を廃止し、総裁・議定・参与の「三職」を新たに置くことで、徳川家の影響力を完全に排除した新政府の体制を整えることにありました。
問3	答え 1 身分や男女の区別なく、6歳以上の男女すべてが小学校に通うことを原則とした。	学制は、富国強兵や殖産興業を支える人材を育成するために、国民に一律の教育を義務付けた制度です。しかし、当時は授業料が保護者の負担であったことや、子供が農作業などの重要な労働力であったことから、生活を圧迫された農民たちによって学校が壊されるなどの反対一揆が各地で発生しました。
問4	答え 1 五箇条の御誓文	明治新政府が発足して間もない1868年に示されたもので、天皇が公家や諸侯を率いて神々に誓う形式をとりました。これまでの封建的な旧習を打破し、開国和親や公議世論の尊重といった新しい国家のあり方を国内外に宣言する目的がありました。
問5	答え 1 文明開化と呼ばれ、パンなどの洋食の普及や、人力車の利用が見られた。	明治政府による「富国強兵」や「殖産興業」の政策が進められる中、西洋の制度だけでなく、生活習慣や技術も急速に導入されました。この動きは文明開化と呼ばれます。情報の伝達手段として日刊新聞や雑誌が登場したほか、食生活ではパンや牛肉を食べる習慣が広まり、交通手段としては人力車が都市部で普及するなど、生活のあらゆる面で西洋化が進みました。
問6	答え 1 特定の藩や人物による独裁を避け、広く諸藩の意見を取り入れて政治を行う姿勢を示す必要があったから	明治新政府は発足したばかりで基盤が不安定だったため、幕府を倒した有力な藩だけでなく、全国の諸藩の協力を得る必要がありました。そのため、一部の勢力が勝手に物事を決めるのではなく、「万機公論」すなわち開かれた議論によって政治を進めるという方針を打ち出すことで、国民や諸藩の支持を得ようとしたのです。これが後の自由民権運動において、議会の開設を求める根拠の一つにもなりました。
問7	答え 1 地券	地租改正において政府は、全国の土地を測量して土地の所有者を確定させました。その際、土地の所有権を公的に証明し、納税の義務を明確にするために発行されたのが「地券」です。これによって江戸時代のような複雑な権利関係が整理され、土地が個人の財産として売買や担保の対象になるという近代的な土地所有制度が整いました。
問8	答え 1 版籍奉還	明治政府は、強力な中央集権国家を樹立するために、各藩が独自に持っていた権限を回収する必要がありました。そこで、藩主に土地（版）と人民（籍）を天皇に返させ、国家による統治の基礎を固めようとした。この政策により藩主は「知藩事」に任命されましたが、依然として旧来の支配が残ったため、のちの廃藩置県へとつながっていきます。